

## 手話勉強会の概要

### 1. 周南公立大学の学生が手話を学ぶ「周南公立大学生による手話勉強会」(仮)

SDGs 推進宣言を掲げた周南公立大学の学生として、大学のミッション、ビジョン、バリュー、ゴール、戦略、実施計画である中期計画において、山口県で制定された「[山口県手話言語条例](#)」で目指される社会の実現に貢献するという項目を、学生自らが学び実践することで、周南公立大学ならではの大学内で学び育つ環境を整え、来年度以降入る新入生を迎える体制を構築する。

### 2. 学生が主催し学生が学ぶ意味

手話に対しての理解を深め、実際に周南市の手話を必要にしている人がいることを学び、周南市が「手話はいのち」と掲げる取り組みの大切さについて考える。現在の課題と未来の課題を学生自らが継続的に学生の自主的学びに成長させていくことで、手話を必要とする人たちがコミュニケーションで困らない社会を実現する。

執行部と連携して地域貢献推進委員会 SDGs アンバサダーが柱になり継続することで、手話の大切さを地域に発信するだけでなく、小中高生などへの勉強会などに取り組む。

### 3. 手話勉強会の内容(仮)

参加者は学生を中心に、教職員、行政、地域の方

- ① 市役所から派遣して頂いた手話の講師の方から手話の勉強(まど・みちおさんのぞうさん等)
- ② グループに分かれて手話について考えるワークショップ
- ③ グループに分かれて手話を覚えるワークショップ
- ④ グループ発表

### 4. 運営組織

執行部を中心に地域推進委員会 SDGs アンバサダー